



地震列島日本 災害時に役立つ情報 第一弾



令和6年元旦に発生した能登半島沖を震源とする「令和6年能登半島地震」
いまでも多くの被災者の方が、極寒の避難所で過酷な避難所生活を余儀なくされています。
私たちの地域でも、いつ起こるかわからない災害…

平時から備えて、少しでも身体的にも精神的にも楽に過ごせるよう、今回は簡易トイレの一例を
ご紹介します。自治会館を“いっとき避難所”として使用する際も役立ちます。



使用時イメージ



折り畳み時イメージ

①自動ラップ式トイレ

水を使わず、臭いも漏らさず、排泄物を密封し、
微生物（細菌）も遮断する新しい形のトイレです。
これまで多くの被災地で使用され、被災地の声を活
かして改良を重ね使いやすくなっています。また、
可燃ごみと一緒に処理ができます。

②水害などで水に濡れても使える災害用トイレ

水に濡れても使えるよう箱と中身を耐水化しています。
また、製造から10年の長期保管がきくので自治会の備蓄品として最
適です。日常で使用するトイレに専用のビニールをかけ、凝固剤を振り
かけて処理するタイプの災害用トイレです。使用後は袋を取り出し、袋
の口を結んで可燃ごみと一緒に処理ができます。抗菌・消臭の効果もあり、
臭いの問題も解決します。また、小口（10個入）から大口（500個入）
まで幅広い品揃えです。用途に合わせて活用できます。



③エレベーター用 トイレ機能付き防災椅子

災害等でエレベーターが長時間停止してしまった時、トイレが不安
になります。マンション等の自治会におススメの災害用トイレです。
平時は、お子様や高齢者等が椅子や荷物置きとして使用し、中には、
トイレットペーパー、水、また②で紹介した凝固剤を使用した災害用
トイレ等を一緒に保管しておくことで万一の時に慌てずに安心です。

5回分が1パックに個包装さ
れています。自治会のイベント
等の参加賞や粗品としても活
用できます。

トイレに行くことは、自然の生理現象です。災害のニュースが報じられると
数の不足や衛生面の話をよく耳にします。感染症の発生等も聞きます。
被災者の方の声としては、臭いや汚れなどでトイレに行くのをためらい、水を
飲むことや食事の量を減らして排泄を我慢する方がたくさんいらっしゃいます。
排泄を我慢すると健康被害が生じてしまうので、上記のようなことは避けたい
ところです。今回ご紹介した災害用トイレは、1回分ずつ処理ができるうえ、
水を使用せず、臭いの問題も解決できます。自治会の備蓄にいかがでしょうか。
また、マンションの管理組合向けには平時は椅子や物置として使用できる椅
子型の災害用トイレをご紹介しました。防災備蓄品の参考にいただければ幸い
です。ご紹介した商品について、詳細が必要な方は下記へ問合せください。



けやきプラザのエレベーター
に設置されています。